

2016年9月2日

公益財団法人日本バスケットボール協会

公益財団法人日本バスケットボール協会

平成28年度 第5回理事会 報告

期日：2016(平成28)年8月24日(水)

会場：ザ・プリンスさくらタワー東京 2階

【報告内容】

1. ウインターカップ 2016

平成28年度 第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
大会要項について

※資料 1

2. 2016年度 JBA 公認 S 級コーチライセンス認定について

※資料 2

3. 基本規程の改定について

※資料 3

4. Bリーグ全選手研修実施結果について

※資料 4

以上

1. ウインターカップ 2016 大会要項について

表記大会の開催にあたり、大会要項(案)が決議され、承認された。大会要項は下記のとおり。

【ウインターカップ 2016 平成 28 年度第 47 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 大会要項】

1. 主 催 公益財団法人日本バスケットボール協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟
朝日新聞社
日刊スポーツ新聞社
2. 後 援 スポーツ庁(予定)
3. 主 管 公益財団法人日本バスケットボール協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟バスケットボール専門部
一般社団法人東京都バスケットボール協会
東京都高等学校体育連盟バスケットボール専門部(男女)
4. 期 日 2016(H28)年 12 月 23 日(金・祝)～29 日(木) 7 日間
5. 会 場 東京体育館 (所在地:〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1)
6. 競技方法 男女各 50 チーム参加によるトーナメント優勝戦とする。
3 位決定戦を行う。
7. 参加資格 (1)平成 28 年度において各都道府県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会に加盟されたチーム及び登録された競技者であること。
(2)選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(3)選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で全国大会の参加資格を得たものに限る。
(4)年齢は、平成 9 年(1997 年)4 月 2 日以降に生まれた者とする。但し、出場は 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
(5)チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(7)転校後 6 ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、所属バスケットボール協会会長又は、所属高体連会長の許可があればこの限りではない。
(8)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受けること。
(9)ベンチで指揮するものは、JBA 公認 D 級コーチ以上であること。

8. 参加資格の特例

- (1)上記(2)、(3)に定める生徒以外で、参加資格を満たすと判断され、都道府県バスケットボール協会が推薦した生徒について、公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた「大会参加資格の別途に定める規定」(全国高等学校総合体育大会競技要項参照)に従い参加を認める。
- (2)上記(4)アの但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒は3回限りとする。

9. 参加制限

- (1)各都道府県は男女各1チームの代表チームを推薦又は選出する。
- (2)実施委員会は当年度インターハイ優勝および準優勝の男女各2チームを推薦する。
- (3)開催地は上記の他に男女各1チームを推薦する。

10. 競技規則

- (1)「2015～バスケットボール競技規則(Official Basketball Rules 2014)」による。
- (2)ユニフォームは、公益財団法人日本バスケットボール協会のユニフォーム規程による。
但し、ユニフォームの番号は、4番より始まる一連番号を用いる。

11. チーム編成及び注意事項

- (1)チーム編成は引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内とする。但し、選手のうち外国人留学生は2名以内とし、コート上5名のうち1名以内とする。
- (2)エントリーの変更は、定められた期日(12月22日代表者会議開始前)までに、実施委員会に申し出なければならない。選手の変更があっても番号の変更はできない。

12. 申し込み方法及び期日

参加申し込みは Team JBA を通じて行うものとし、必要事項を記入の上、学校長の承諾印、各都道府県バスケットボール協会の承諾印を受けて、学校医の診断書、医科学アンケート、チーム集合写真、広報アンケートを同封し、平成28年11月16日(水)までに、公益財団法人日本バスケットボール協会ウインターカップ実施委員会まで申し込むこと。

13. 組合せ

平成28年11月17日(木)
公益財団法人日本バスケットボール協会及び公益財団法人全国高等学校体育連盟バスケットボール専門部の責任抽選とし、決定次第、各都道府県ならびに参加チームに通知する。

14. 代表者会議

平成28年12月22日(木) 東京体育館(予定)

15. 開会式

平成28年12月22日(木) 東京体育館(予定)

16. 閉会式

競技終了後直ちに行う。

17. 経費

参加チームに対しては、公益財団法人日本バスケットボール協会が所定の旅費(急行、特急、指定等の料金を除いた団体割引運賃)を補助する。(学校所在地より東京まで)



18. 宿 泊 宿泊を斡旋希望するチームは別途定める要項に従って申し込むこと。
19. そ の 他 提出書類に記載されたデータ(画像データ含む)は、主催者が大会運営のため大会プログラムや大会公式サイトなどに使用するほか、報道を目的として報道機関に提供することがある。
そのほか、個人情報および肖像権の取り扱いについては別途定める。

以上

2. 2016 年度 JBA 公認 S 級コーチライセンス認定について

JBA 公認 S 級コーチ養成講習会修了者および JBA 公認 S(F)級コーチの基準を満たした外国籍コーチ、合計 27 名について、ライセンスの認定を行なった。

※S(F)級の F は「Foreigner＝外国籍コーチ」を示す。

【2016 年度 JBA 公認 S 級コーチ養成講習会 概要】

日 時： 2016 年 7 月 15 日(金)～22 日(金)および同 25 日(月)～30 日(土) 計 14 日間
会 場： 東京都：味の素ナショナルトレーニングセンター
受講対象： B1 リーグのコーチ

※特記事項

今回の講習会は B リーグの開幕をにらみ、14 日間の暫定プログラムで実施したが、5 年後をめどに海外研修を含む正式な S 級プログラムの開催を予定。そのため、暫定プログラムによる S 級修了者については、後日追加のプログラムを課し、正式な S 級ライセンスとして改めて認定する仕組み(移行措置)を検討中である。

※2016 年度 JBA 公認 S 級/S(F)級コーチ認定者一覧は次ページを参照

【2016年度 JBA 公認 S 級/S(F)級コーチ認定者(27名)】

No.	ライセンス	氏名		性別
1	S級	青木	勇人	男
2	S級	安斎	竜三	男
3	S級	伊佐	勉	男
4	S級	伊藤	拓摩	男
5	S級	大久保	愛樹	男
6	S級	大野	篤史	男
7	S級	桶谷	大	男
8	S級	梶山	信吾	男
9	S級	金田	詳徳	男
10	S級	河内	修斗	男
11	S級	北	卓也	男
12	S級	斎藤	拓也	男
13	S級	庄司	和弘	男
14	S級	鈴木	貴美一	男
15	S級	遠山	向人	男
16	S級	富山	晋司	男
17	S級	TOEWS (テーブス)	Burek (バーク)	男
18	S級	長谷川	誠	男
19	S級	浜口	炎	男
20	S級	藤田	弘輝	男
21	S級	堀田	剛司	男
22	S級	前田	顕蔵	男
23	S級	間橋	健生	男
24	S級	水野	宏太	男
25	S(F)級	WISMAN (ウィスマン)	Thomas (トーマス)	男
26	S(F)級	GEARY (ゲアリー)	Reginald (レジー)	男
27	S(F)級	NASH (ナッシュ)	Robert (ロバート)	男

3. 基本規程の改定について

今年度から開幕する B リーグ (B1~B3) の公式試合を、JBA 主催 (B リーグとの共催) 試合として規定するために、基本規程 (第 6 章 第 2 節国内競技会 第 131 条) に規定する「国内競技会の主催」に B リーグ (B1~B3) を追加した。

※詳細については、JBA 公式サイト内「各種規程ページ」にてご確認ください。

<http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei/>

以上

4. Bリーグ全選手研修実施結果について

Bリーグチェアマンを兼ねる大河正明副会長より、Bリーグが所属全選手参加の研修会を1泊2日のカリキュラムで実施したことが、受講選手たちの感想と併せて報告された。

Bリーグ全選手研修の概要は以下のとおり。

【Bリーグ全選手研修】

日 時:①2016年7月21日(木)～22日(金) ※B1クラブ所属選手対象
②2016年7月22日(金)～23日(土) ※B2クラブ所属選手対象

場 所:静岡県・つま恋リゾート

参加人数:B1・B2 合計 299名

目 的:Bリーグ開幕に向けて選手の意識改革を促す

研修テーマ:「プロフェッショナルとは何か」

世の中の不祥事やスポーツ業界でのコンプライアンス違反などは、「起きている事象が自分事化できていないから繰り返される」と仮定し、元 Jリーガーの福田正博氏を講師に迎えた講義などを題材に、その理想像を自分事化することを促すためのワーク(考える時間・ディスカッションの時間等)を複数設定。「プロフェッショナルとは何か」について研修した。

以上